

2006年3月期上期決算 および通期予想

2005年10月27日

日本電気株式会社

(<http://www.nec.co.jp/ir/ja>)

<将来予想に関する注意>

本資料には当社および連結子会社（以下NECと総称します。）の戦略、財務目標、技術、製品、サービス、業績等に関する将来予想に関する記述が含まれています。将来予想は、NECが証券取引所や米国証券取引委員会等の規制当局に提出する他の資料および株主向けの報告書その他の通知に記載されている場合があります。NECは、そのような開示を行う場合、将来予想に関するセーフハーバー（safe-harbor）規則を定めている1995年米国民事証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）その他の適用法令に準拠しています。これらの記述は、現在入手可能な仮定やデータ、方法に基づいていますが、そうした仮定やデータ、方法は必ずしも正しいとは限らず、NECは予想された結果を実現できない場合があります。また、これら将来予想に関する記述は、あくまでNECの分析や予想を記述したものであって、将来の業績を保証するものではありません。このため、これらの記述を過度に信頼することは控えるようお願いします。また、これらの記述はリスクや不確定な要因を含んでおり、様々な要因により実際の結果とは大きく異なりうることをあらかじめご承知願います。実際の結果に影響を与える要因には、(1)NECの事業領域を取り巻く国際経済・経済全般の情勢、(2)市場におけるNECの製品、サービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力、(3)激しい競争にさらされた市場においてNECが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供し続けていくことができる能力、(4)NECが中国等の海外市場において事業を拡大していく能力、(5)NECの事業活動に関する規制の変更や不透明さ、潜在的な法的責任、(6)市場環境の変化に応じてNECが経営構造を改革し、事業経営を適応させていく能力、(7)為替レート（特に米ドルと円との為替レート）の変動等があります。将来予想に関する記述は、あくまでも公表日現在における予想です。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、NECがこれら将来予想に関する記述を見直すとは限りません。

本資料に含まれる経営目標は、予測や将来の業績に関する経営陣の現在の推定を表すものではなく、NECが事業戦略を遂行することにより経営陣が達成しようと努める目標を表すものです。

本資料に含まれる記述は、証券の募集を構成するものではありません。いかなる国・地域においても、法律上証券の登録が必要となる場合は、証券の登録を行う場合または登録の免除を受ける場合を除き、証券の募集または売出しを行うことはできません。たとえば、米国において証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づく証券の登録が行われ、NECおよび経営陣に関する詳細な情報ならびに財務諸表が掲載された英文目論見書をもって公募を行うことになります。

* 本資料で使用している「営業利益」および「営業損益」は、日本基準に基づき表示しております。

* フリー・キャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計です。

* Net有利子負債は有利子負債から現金および現金同等物を控除しています。

総 括

上期営業利益 130億円

半導体未達を全社でほぼカバー

ITソリューション：

厳しい市場環境下で売上確保

NWソリューション：

モバイルターミナル出荷低迷も
インフラ事業は好調持続

エレクトロニクスデバイス：

7月公表値はほぼ達成
(期初計画比 ▲137億円)

通期営業利益予想を修正
1500億円 → 1000億円

IT・NWは計画必達目指すも
半導体が期初比580億円下方修正
モバイルターミナル事業は回復遅れ

■ 半導体・モバイルターミナル
事業の再建

■ IT・NWソリューション事業の
市場開拓推進

■ NECグループの
バリューチェーン強化

課
題

I.上期実績

06/3期 上期/2Q実績サマリー

2005年10月27日時点

(単位：億円)	05/3期	06/3期				
	上期	上期			2Q	
	実績	実績	予想差	前年同期比	実績	前年同期比
売上高	23,032	22,330	-170	-3.0%	12,321	-1.2%
営業利益	593	130	-20	-463	340	-88
(売上高比%)	2.6%	0.6%			2.8%	
税前損益	719	285	+5	-434	574	+259
当期純利益	252	164	+24	-88	274	+232
(売上高比%)	1.1%	0.7%			2.2%	
1株当たり純利益：基本的(円)	12.77	8.36		-4.41		

06/3期 上期セグメント別実績

2005年10月27日時点

(単位：億円)		上期				
		04/3期	05/3期	06/3期		
		実績	実績	実績	予想差	前年同期比
ITソリューション事業	売上高	9,495	9,627	9,901	+ 201	2.8%
	営業損益	340	343	264	- 36	- 79
	利益率	3.6%	3.6%	2.7%	-	
ネットワーク ソリューション事業	売上高	8,526	8,999	8,113	- 287	-9.8%
	営業損益	250	182	137	+ 37	- 45
	利益率	2.9%	2.0%	1.7%	-	
エレクトロン デバイス事業	売上高	4,609	4,614	3,927	- 23	-14.9%
	営業損益	216	338	-97	- 17	- 435
	利益率	4.7%	7.3%	-2.5%	-	
その他 / セグメント間消去他	売上高	200	-208	389	- 61	-
	営業損益	-226	-270	-174	- 4	-
	利益率	-	-	-	-	
合計	売上高	22,830	23,032	22,330	- 170	-3.0%
	営業損益	580	593	130	- 20	- 463
	利益率	2.5%	2.6%	0.6%	-	

II.通期業績予想

06/3期 通期予想サマリー

2005年10月27日時点

(単位：億円)	05/3期	06/3期	06/3期		
	通期	上期	通期		
	実績	実績	予想	前回予想差	前年同期比
売上高	48,551	22,330	49,300	-700	+2%
営業利益 (売上高比%)	1,312 2.7%	130 0.6%	1,000 2.0%	-500	-312
税前利益	1,157	285	900	-400	-257
当期純利益 (売上高比%)	679 1.4%	164 0.7%	600 1.2%	+0	-79
1株当り純利益：基本的(円)	34.77	8.36			

※予想値は2005年10月27日現在

06/3期 通期セグメント別予想

2005年10月27日時点

(単位：億円)		通期				
		04/3期	05/3期	06/3期		
		実績	実績	現予想	前回予想差	前期比
ITソリューション事業	売上高	20,989	21,444	22,000	+ 0	2.6%
	営業損益	918	1,023	1,150	+ 0	+ 127
	利益率	4.4%	4.8%	5.2%	-	
ネットワーク ソリューション事業	売上高	17,757	18,920	18,300	- 600	-3.3%
	営業損益	679	265	500	+ 0	+ 235
	利益率	3.8%	1.4%	2.7%	-	
エレクトロン デバイス事業	売上高	9,322	8,687	7,900	- 900	-9.1%
	営業損益	543	372	-280	- 580	- 652
	利益率	5.8%	4.3%	-3.5%	-	
その他 / セグメント間消去他	売上高	1,000	-500	1,100	+ 800	-
	営業損益	-313	-348	-370	+ 80	-
	利益率	-	-	-	-	
合計	売上高	49,068	48,551	49,300	- 700	1.5%
	営業損益	1,827	1,312	1,000	- 500	- 312
	利益率	3.7%	2.7%	2.0%	-	

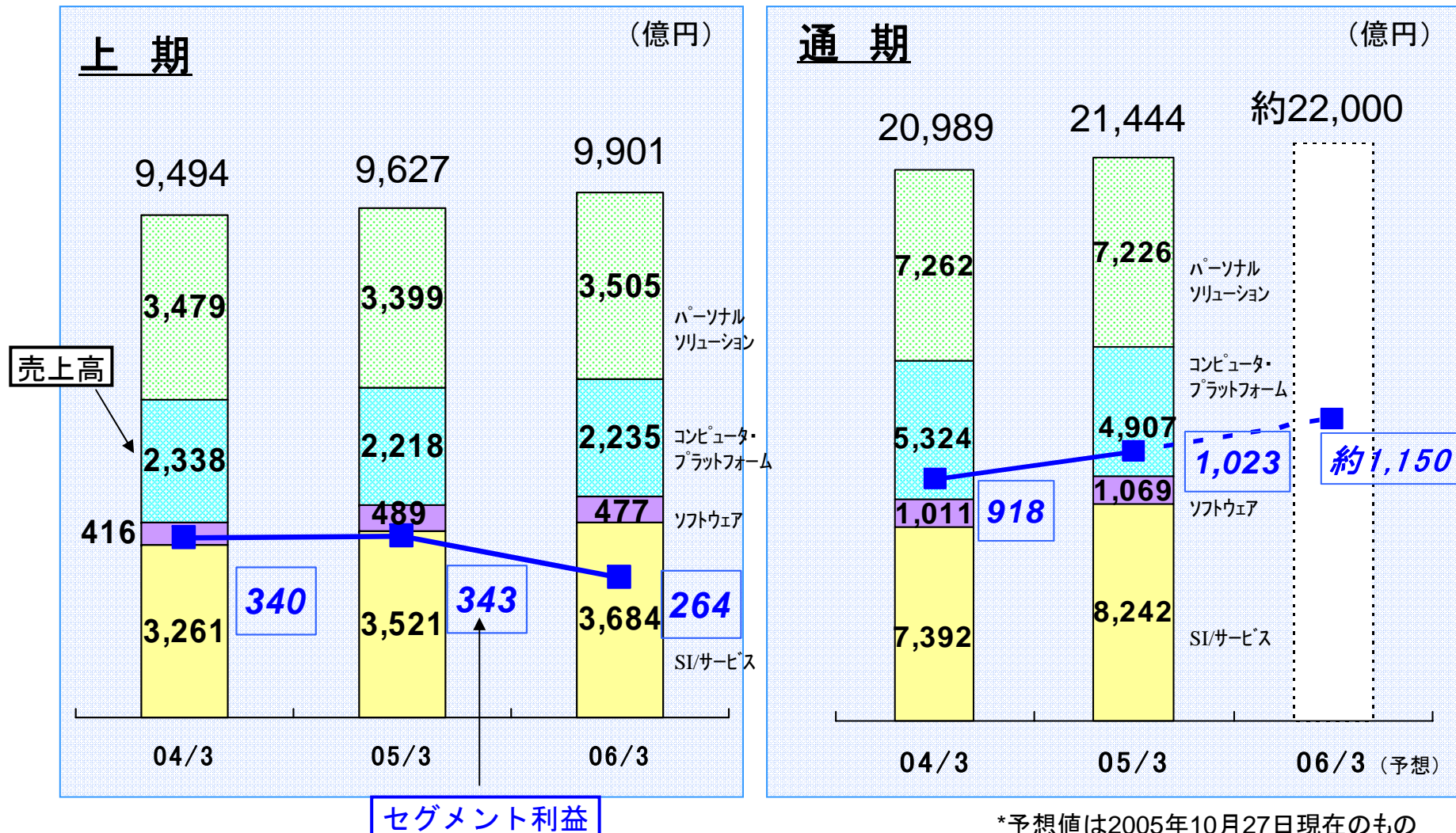
※予想値は2005年10月27日現在

III.セグメント別事業の概況

ITソリューション事業の状況

～上期：売上は堅調

通期：期初計画通りの増収増益を見込む～



*予想値は2005年10月27日現在のもの

ITソリューション事業の状況

■ S I / サービス

◇市場環境：緩やかな拡大基調が続くも、価格低下圧力は依然厳しい

◇当社施策

- ソフト・サービス体制強化による売上拡大とコスト低減
 - ・ NES、NECSTの完全子会社化効果（外注費削減）の実現
 - ・ アビームとの戦略的資本提携の活用
 - ・ 営業/SEの一体化によるソリューション提案力強化
- プロジェクトマネジメントの徹底

■ S I を支えるプラットフォーム

◇サーバ：上期は堅調に推移

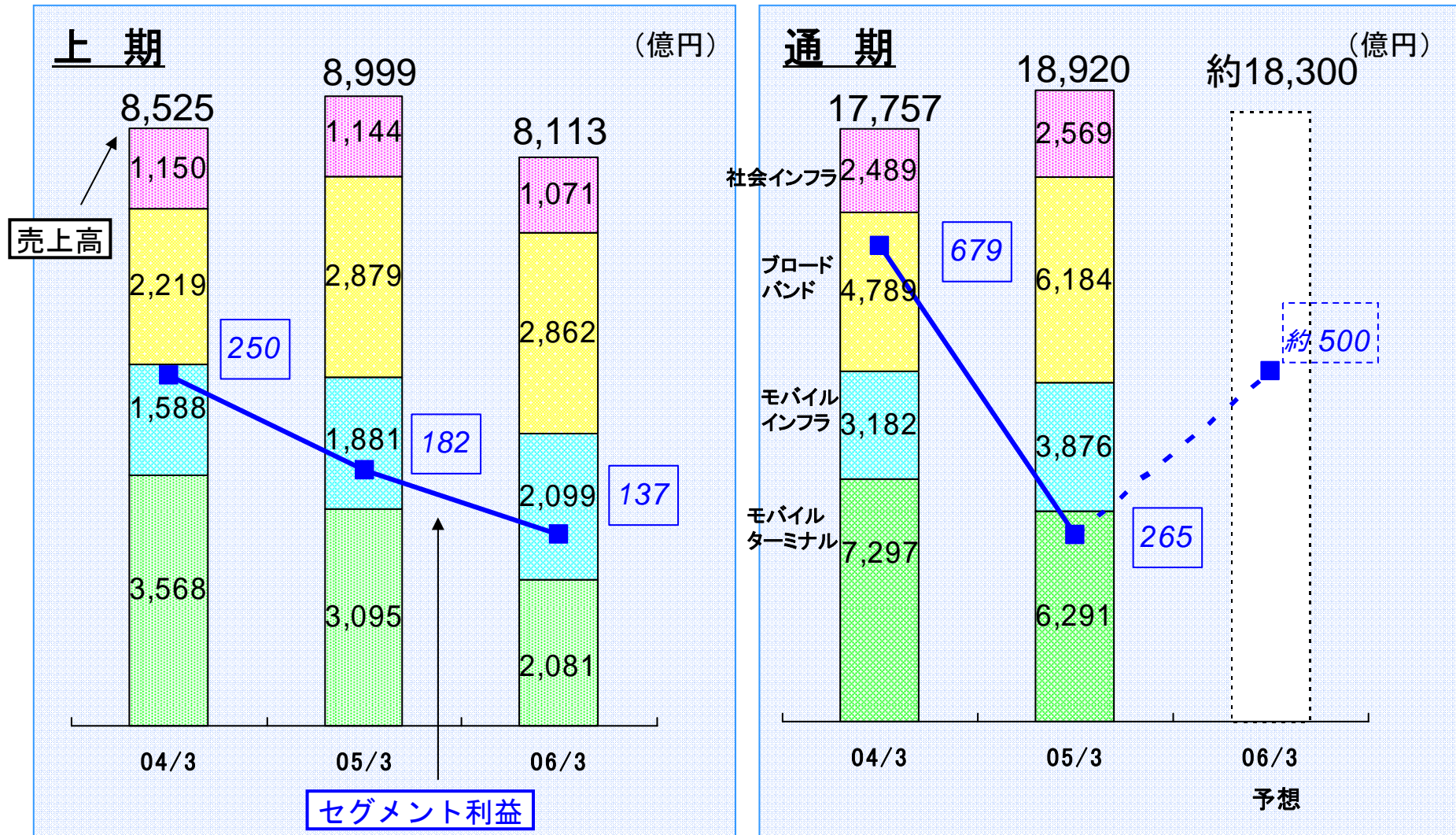
- I Aサーバ：前年比+17%、UNIXサーバ同+7%

◇今後の施策

- プラットフォーム最適化ソリューション（サーバ統合など）
- ブレードサーバ、省スペース型サーバ、水冷式静音サーバ
- さらなる原価低減

ネットワークソリューション事業の状況

～モバイルターミナルが回復遅れるが、モバイルインフラで補い利益拡大を計画～



*予想値は2005年10月27日現在のもの

ネットワークソリューション事業の状況

- モバイルターミナルは出荷・損益が下ぶれ
事業立て直しに向け、足場固めに注力

上期出荷台数 470万台

- ◇国内：3Gシフトが進展し、8割が3Gに
- ◇海外：価格低迷の影響により2.5Gが苦戦

通期出荷台数予想 1000万台強

- ◇国内：下期に3G端末のラインアップを強化
- ◇海外：損益優先による投入市場・機種の絞込み

■モバイルインフラは好調持続

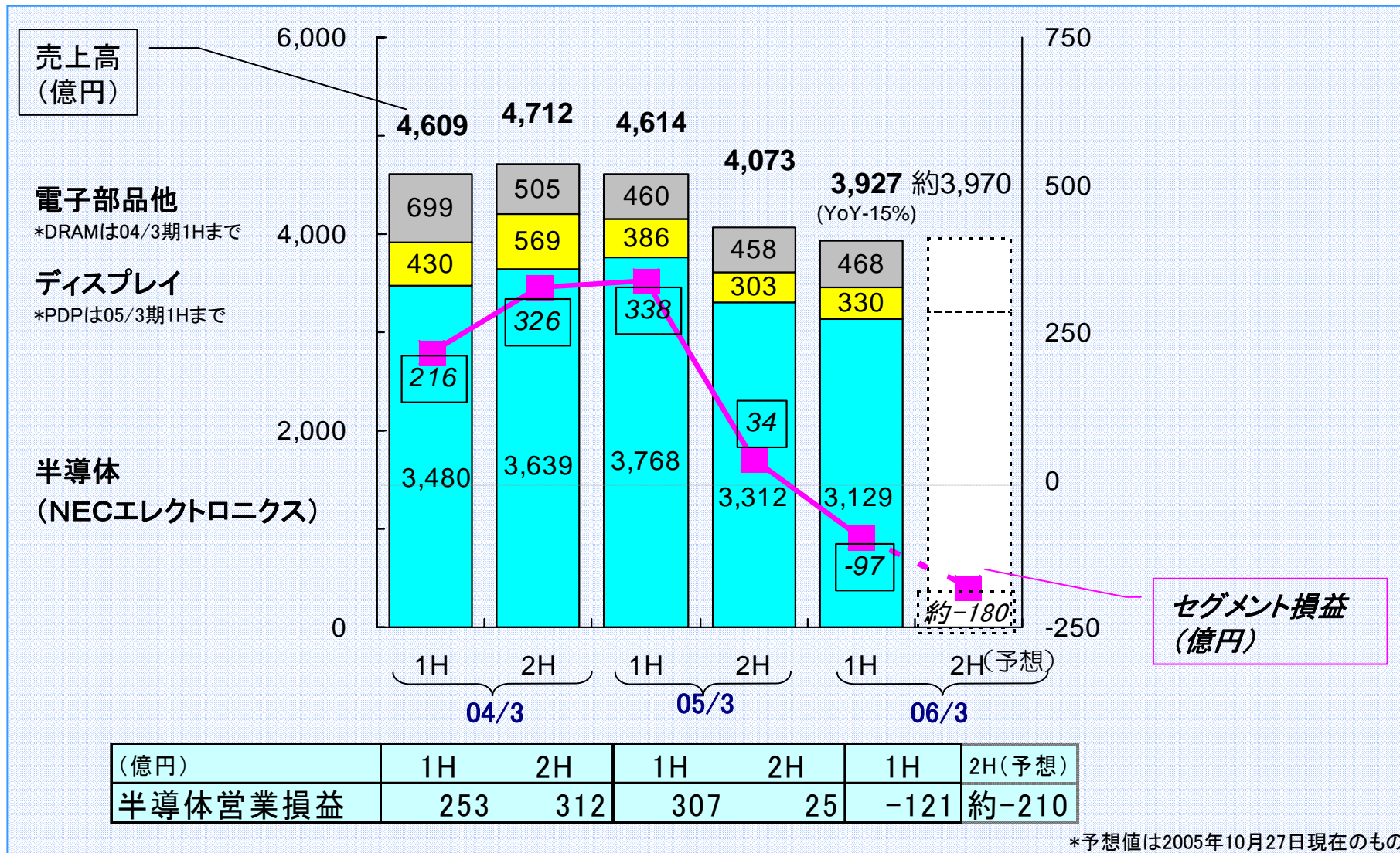
- ◇国内：さらなるサービス向上に向けた投資堅調
- ◇海外：3G・パソリンクが伸長し、収益性も改善

■ブロードバンド事業は堅調に推移

- ◇キャリア：光アクセスなどが順調
サービスプラットフォームは前倒し
- ◇企業向け：UNIVERGEが順調に拡大、セキュリティ等の需要増に対応

エレクトロニクス事業の状況

～上期実績：半導体分野の回復遅れから、前年同期比で減収減益～



エレクトロニクス事業の状況

■半導体分野

◇上期実績： 売上高は対前年同期比で▲17%

携帯電話端末向け、サーバおよびワークステーション向け半導体や、ディスクリット、光・マイクロ波半導体などの売上高が減少

◇通期業績下方修正： 期初比で売上高▲850億円、営業損益▲580億円

―受注不振による売上の下方修正

―売上構成の変化による利益率の悪化

◇業績改善に向けた今後の取り組み

―技術者再配置や販売店とのパートナーシップ強化などによる売上拡大

―限界利益率改善

―固定費削減

などの諸施策を講じることにより、業績の改善を目指す

■カラー液晶、電子部品事業： 出荷、利益ともに堅調に推移

Empowered by Innovation

NEC

BS/CFの状況

(億円)	03/9	04/9	05/9	05/3
総資産 (回転率)	41,405 (1.11回)	39,061 (1.22回)	38,073 (1.26回)	39,407 (1.23回)
棚卸資産 (回転日数)	6,313 (47日)	6,294 (47日)	5,593 (43日)	5,289 (40日)
有利子負債 (D/Eレシオ)	13,828 (3.5倍)	11,755 (1.6倍)	10,533 (1.2倍)	11,562 (1.4倍)
Net有利子負債 (NetD/Eレシオ)	9,345 (2.4倍)	7,066 (1.0倍)	6,395 (0.7倍)	6,619 (0.8倍)
株主資本 (株主資本比率)	3,911 (9%)	7,252 (19%)	8,830 (23%)	7,943 (20%)
	03/上	04/上	05/上	
F C F	983	-394	81	

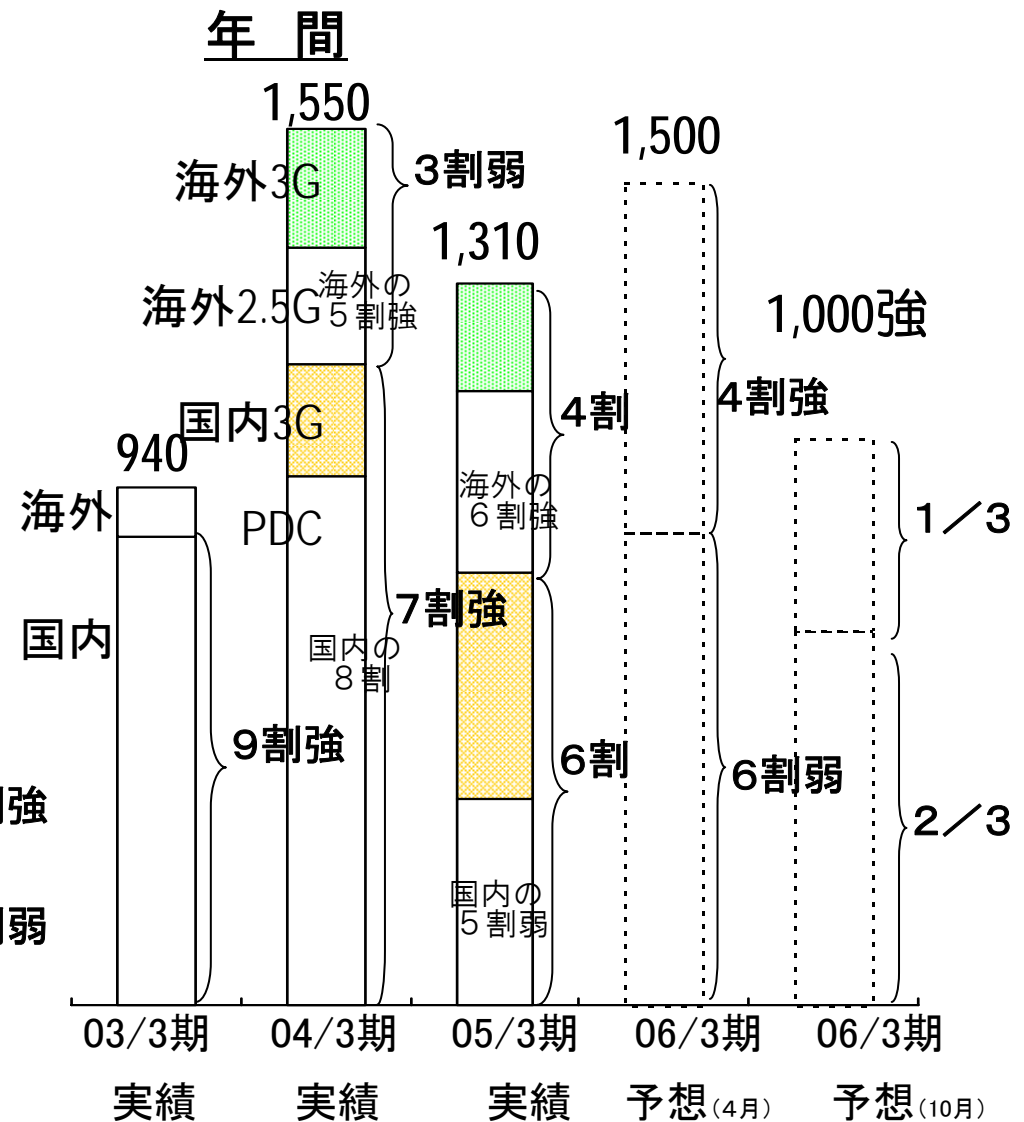
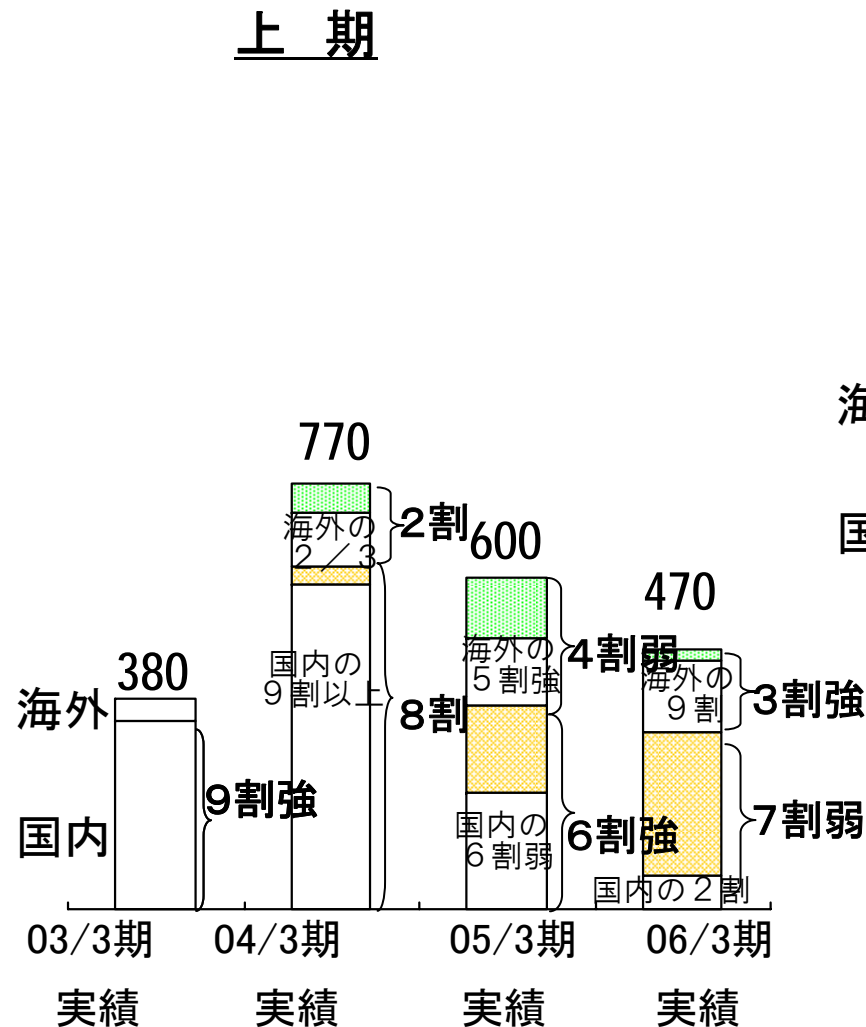
*総資産回転率、棚卸回転日数は、期末残高、前12ヶ月売上ベース

**Net有利子負債＝有利子負債－現金および現金同等物

モバイルターミナル出荷状況

携帯電話機出荷台数推移

上期



*予想値は2005年10月27日現在のもの